

Hari Om

ここでは、どこに行っても神様が出迎えてくださる

Rishikesh Shanti Yoga Club Tour 2019



満月でホーリー祭りの日に当たった

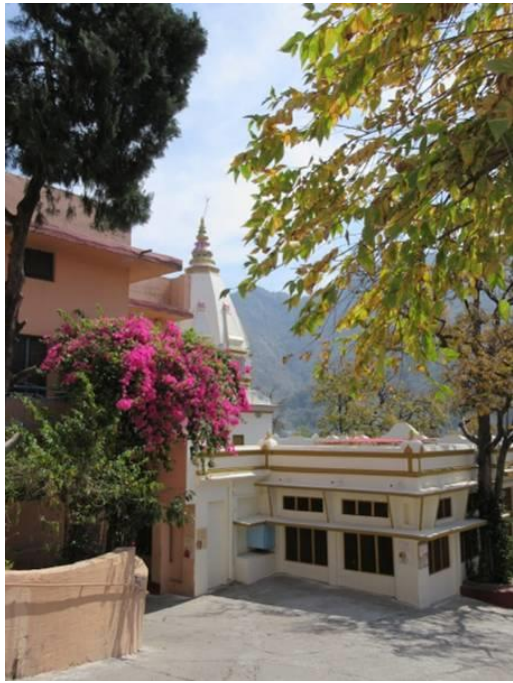


今やラム・ジュラは黄色のライトが付き、時の流れを感じる
グルデブ・クティール・アラティ



アシュラムからガンガを見下ろすと、実に雄大で美しい。吸い込まれて一体になる気がする





満月のシヴァナンド・ピラー



建物は全て美しく塗り直されている

Sivananda Ashram



サマディ・シュライン (サマディ・ホール)



ヴィシュワナータ・テンプル





24 時間マントラが唱え続けられるバジャン・ホール



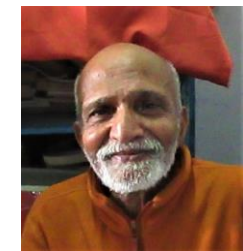
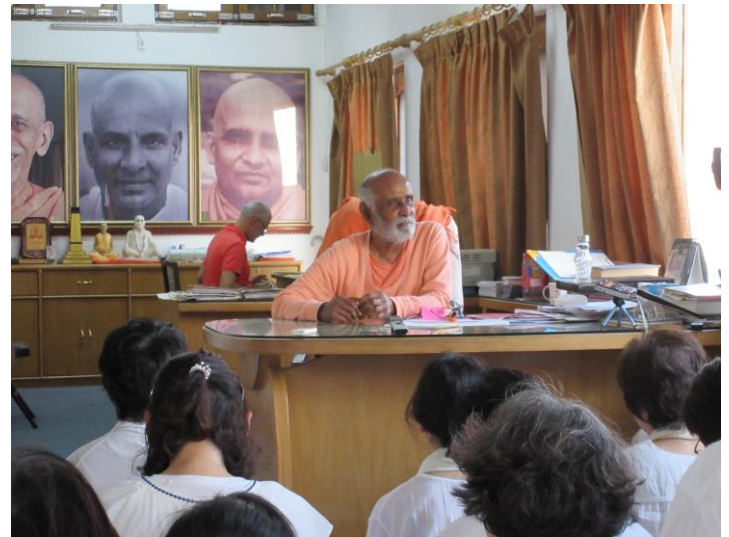
中央には芸術を司るサラスヴァティ女神



サマディ・ホールでのサットサンガ



講話を聴きに来たハヌマン猿
人ほどに大きい! (*_*)



連日のスワミジ方の講話
深く、心に響く





アシラムライフを満喫するためには、よく歩く



ダイニング・ホール、食事は神性が宿る肉体に栄養を捧げる儀式とも言える

祀られているのはアナプルナ女神



オーデトリウムの上階の宿舎、遙か遠くの世界まで見えるようだ

高台に堂々とそびえ建つオーデトリウム



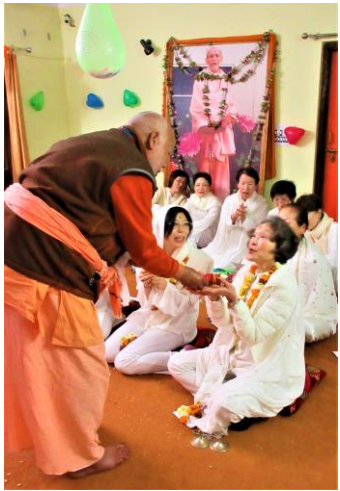


♥ Birthday Cake ♥



Uttarakashi

ここでは『ヨーガ・ヴァシスタ』の講義が何十年も淡々と続いている

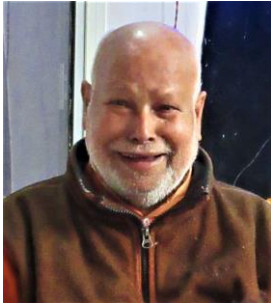


謳って踊る。皆でひとつ、
自分(I)はもうない





どんな時もブレマナダジには笑顔しかない (^_^)



「自分で秘密の箱を開けて、また私の元へ戻っておいで！」懐かしいブレマナダジの言葉だ



部屋の窓から。ガンガの源流の先には白雪を頂いた山が静かに鎮座する



今回もまた、胸がじいと熱くなるたくさんの思い出とお土産を頂いた



妖精が舞っている ♪





懐かしいアーティストスワミ・チータンジ



暖かく守られている



暖かく守られている
大いなるものに
感謝しかない



バスに揺られ、車窓の
山道を眺めながら
命について考えてみる



ウッタラカーシーは遠い世界なのだろうか

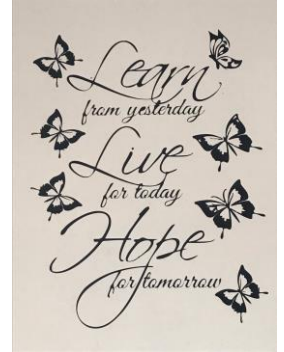
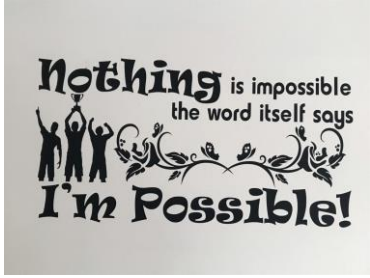




チダナダ師のサンダル



癒されの空間、シャンティ・ニワスは今なおチダナダ師のヴァイブレーションが溢れている



今に生きる
幸せを味わう



Varanasi



夕暮れ時と夜明けのガンガ
導かれてここまでやって来た
Om Shanti

